

おてんとさん通信

おてんとさん発電所 11号機 こまどり会喜蔵庵 市民共同発電所完成！

『こまどり会喜蔵庵』市民共同発電所は、2024年2月に完成し、3月17日に祝う会を開催しました。クリーンなエネルギーを産み出す蓄電池付き発電所は地域の防災拠点を目指しています。

蓄電池付き太陽光発電システム

令和5年度奈良市市民共同発電所補助事業
奈良県令和5年度事業所エネルギー効率的利用

推進事業補助金事業

蓄電池(6, 5 kWh)
太陽光パネル(8, 2kW)

総事業費(啓発費含む)約343万円

資金 奈良市補助金、奈良県補助金、
こまどり会自己資金、
市民寄付金、おてんとさん支援金

完成を祝う会(3月17日)

地域の自治会関係者の方も含め、33名が参加されました。

利用者の皆さんが歌う「翼をください」のビデオメッセージが上演され、感動的であたたかな祝う会でした。

気候危機とのたたかいは続く

2024年は、能登半島地震に始まりました。昨年に続く記録的な暑い夏、さらに日本列島は多くの豪雨災害に見舞われました。そして、世界中で低温や寒波、高温、大水害や大干ばつ、山火事が発生。南極の氷面積が減少することによる地球全体にもたらす影響については、科学者たちが今までも警告してきました。

昨年末にアゼルバイジャンで開催された気候変動枠組み条約第29回締約国会議(COP29)の最大の成果は、気候資金に関する新規合意数値目標(2025年以降の途上国の気候変動対策に対する資金支援に関する目標)に合意したことだと報告されています。このほか、炭素市場等に関する詳細ルールが決定し、同条の完全運用化が実現されました。しかし、各国がより高い2035年の排出削減目標(2035年目標)を設定するための機運醸成については、目立った成果はなく、パリ協定締約国は、2025年2月までに2035年目標を提出する必要があります。

日本でも、2035年目標の政府案が示されましたが、対策を加速させることが求められているにもかかわらず、直線的な排出削減にとどまりました。(国立環境研究所HPより)たたかうべき相手は気候危機です。より実効性のある対策を求めたいと思います。

NPO 法人サークルおてんとさん 清水順子



参加者の皆さんと記念撮影



点灯の瞬間

第11回(2024年)総会

開催日時: 2024年5月30日(木)

13:15~14:30

場所: プロム近鉄奈良駅前

出席者数: 正会員25名 団体準会員1

(実出席11名、委任表決者5名、
書面表決者9名)

第1号議案 2023年度 事業報告及び
報告承認の件

第2号議案 2024年度 事業計画(案)
及び活動予算(案)承認の件

第3号議案 役員選出の件

理事10名・幹事1名

(内、理事1名退任、理事2名新任)承認
報告及び提案した議案はすべて承認され
ました。



あいさつするこまどり会北川善明理事



決算報告等はおてんとさんホームページの「わたしたちについて」に掲載